

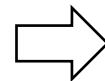
獵銃等講習会考查の変更 初心者講習の考查が変わりました

主な変更点

(旧)

出題形式

四肢折一

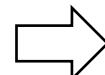


(新)

正誤(○×)式

問題数

20問



50問

(四肢折一のため、
実質的には80問)

変更により何が変わるのでですか？

- 出題内容がより平易になります。
- 初心者講習のテキスト（「獵銃等取扱読本」）に記載されていることだけが出題されます。
- 例題で事前に勉強することが可能です。
(例題が必要な方は、担当者までお問い合わせください。)
- 45点以上の正答で合格になります。



テキストに記載されている知識を有している
かを確認するための考查です。
事前にテキストをしっかり読みましょう。

練習問題

1. 一人で数丁の銃を所持しようとするときには、それぞれの銃ごとに所持許可を受けなければならない。
2. 猟銃や空気銃は、コレクション目的で所持許可を受けることはできないが、遺品としてなら所持許可を受けることができる。
3. 引き金を引いている間は弾丸が連續して発射される連續自動撃発式の銃は、所持許可の対象とならない。
4. 狩猟、有害鳥獣駆除、標的射撃の用途での獵銃や空気銃の所持許可の有効期間は、所持許可を受けた日から5回目の誕生日が経過するまでの間である。
5. 獵銃や空気銃を携帯、運搬する場合は、事故防止のために実包を装填している場合に限り、銃に覆いをかぶせるか容器に入れなければならない。
6. 銃を発射する場合には、人の生命、身体又は財産に危害を及ぼさないように注意しなければならず、注意を払わなかった場合は実害が発生しなくとも違反になる。
7. ガンロックの鍵を他人に預けている場合には、銃を自ら保管しているとは言えない。
8. 獵銃や空気銃の所持者は、銃をなくしたり盗難にあったときは、自分で可能な限り探す必要があるため、直ちに警察官に届け出る必要はない。
9. 自動装填式銃とは、発射の際に生じる火薬のガス圧や反動を利用して、排きようと次弾の装填が自動的に行われる連発銃のことである。
10. 引き金に遊びがあると暴発を起こしやすく危険なので、引き金に遊びはあってはならない。
11. 事故防止上、有効射程内はもちろんのこと、有効射程内を過ぎた弾についても最大到達距離は危険距離であることを認識しておく必要がある。
12. 銃口は絶対に人のいる方向に向けてはならないが、分解して銃身だけになっているときは、銃口を人に向けても良い。
13. 宿泊施設で銃を保管する場合、例えば、銃を施錠したケースに入れ、部屋の押し入れ等目立たない場所で保管するなどの配慮が必要である。
14. 車のトランクは、施錠していれば銃の保管設備に当たるため、予備銃を車のトランクに置いたままにしてもよい。
15. 自分で手詰めして実包を作る場合は、火薬の量をメーカーが指定する基準に従って装填するなど、十分な注意が必要である。

注

- 上記の問題は考查の問題の例であり、この中から必ず出題されるわけではありません。
- 出題内容は「獵銃等取扱説明書」に準拠していますので、よく勉強してください。

- 回答
1. ○ 2. × (遺品として所持許可を受けることはできない) 3. ○ 4. × (3回目の誕生日に銃を購入する場合) 5. × (実包を装填する際には充電器(充電池)を必ず充電する) 6. ○ 7. ○ 8. × (直角に開けた出力を必要とする) 9. ○ 10. × (引火性が高いため) 11. ○ 12. × (分解して銃身だけにすると危険) 13. ○ 14. × (車のトランクに銃を置く) 15. ○